

第2章

発達段階に応じたキャリア教育の充実

テーマ 4 「職場体験活動・インターンシップ等の推進」

■ 背景(課題)

子どもたちが社会的・職業的に自立し、社会の一員としての自分の役割を果たしていくために必要となる、人間関係を築き上げていく力や、課題を発見し解決していく力などの様々な能力は、子どもたちの成長過程と深く関わりながら発達していくため、小・中学校、高等学校等の学校段階ごとの取組を考え、それらを系統立ててつながりのあるものとしていくことが大切である。

そのため、県教育委員会では、学校段階ごとに様々なキャリア教育に関する事業を系統的に展開し、子どもたちの社会的・職業的自立に向けた諸能力と望ましい勤労観・職業観を育てているところである。

また、私立学校においても、多様な事業所におけるインターンシップの実施や、幼稚園での保育実習等、充実したキャリア教育が実施されている。

■ 関連する施策の実施状況

○小学校における取組～「地域に学び・語り継ぐ キャリア教育」推進事業

高学年児童が、地域の講師に学ぶ体験活動や講話を通して深めた「考え」を、下級生に「語り継ぐ場」をもつことで、各学年の発達段階に応じ、全校が「生き方や働くこと」について考える取組を 18 市町各 1 校で実施した。

○中学校における取組～「あいち・出会いと体験の道場」推進事業

子どもたちが将来の生き方について真剣に考え、働くことや学ぶことへの意欲を高めるため、全公立中学校（名古屋市を除く）306 校で 5 日間程度の職場体験学習を実施した。

○高等学校での取組

全ての県立高等学校（全日制）で、インターンシップやジョブシャドウイング等の体験活動を充実させるとともに、専門高校等において産業界や上級学校で活躍するプロフェッショナルを招へいし、各教科の専門分野における知識・技能について指導を受けた。また、工業高校生の技術・技能の習得を図るため、ものづくりに関心の高い生徒を対象に、高度で実践的な技術・技能を身に付ける 10 日間程度の企業実習を実施した（図表 1）。

【図表 1：インターンシップ等の体験者数の推移】

| 年 度 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 生 徒 数 | 118,243 人 | 119,556 人 | 121,232 人 | 121,549 人 | 124,055 人 | 124,814 人 |
| 体験者数 | 8,183 人 | 9,483 人 | 9,982 人 | 10,899 人 | 11,286 人 | 12,704 人 |
| 体験者の割合 | 6.9% | 7.9% | 8.2% | 9.0% | 9.1% | 10.2% |

また、国際的な視野と、国際親善や国際理解の精神を身につけた職業人の育成を図るため、工業科、商業科の生徒を対象にした海外インターンシップ事業を開始した。平成 27 年度派遣生徒数は工業科 4 人、商業科 4 人である。

○特別支援学校における取組

小学部を対象とした職場見学、中学部を対象とした就労体験活動、高等部を対象とした現場実習をそれぞれ実施した（図表2）。

【図表2：特別支援学校におけるキャリア教育推進事業の実施状況（H27年度）】

| 部 | 事業名 | 実施校数 | 実施人数 |
|-----|--------------|------|------|
| 小学部 | ふれあい発見推進事業 | 23校 | 238人 |
| 中学部 | チャレンジ体験推進事業 | 23校 | 254人 |
| 高等部 | 県立学校職場実習 | 20校 | 244人 |
| 全体 | 地域就労支援ネットワーク | 28校 | |

また、拠点となる高等特別支援学校2校に各1名の「就労アドバイザー」を配置し、関係機関との連携強化や就労先及び実習先企業の開拓を実施した。

■ 取組の成果

- 小学校の事業では、子どもたちが体験活動や講話を聞くことにより、働くことの苦労や大切さを感じ取ることができた（図表3）。

【図表3：地域に学び・語り継ぐ キャリア教育推進事業アンケート結果】

| アンケート内容 | そう思う | おおむね そう思う | あまり思 わない | 思わない |
|---|-------|--------------|-------------|------|
| (児童) 働くことの苦労や大切さを学べた。 | 74.8% | 20.7% | 2.9% | 1.6% |
| (講師) 体験活動や講話を聞くことは、働くことへの意欲を高めたり、大切さを学んだりするのに有効であったか。 | 91.0% | 9.0% | 0.0% | 0.0% |
| (講師) 子どもたちは、意欲的に取り組んでいたか。 | 79.0% | 21.0% | 0.0% | 0.0% |

- 中学校の職場体験学習では、活動の意義等を生徒に十分に伝えるなど、事前・事後の指導の充実に努めた結果、有意義な活動を行うことができた（図表4）。

【図表4：あいち・出会いと体験の道場推進事業アンケート結果 上段H27・下段H26年度】

| アンケート内容 | そう思う | おおむね そう思う | あまり思 わない | 思わない |
|---|-------|--------------|-------------|------|
| (児童) 働いている人の苦労や働くことの大切さを学べた。 | 73.8% | 23.2% | 2.6% | 0.4% |
| | 73.8% | 23.2% | 2.6% | 0.4% |
| (講師) 職場体験活動は、子どもの働く意欲を高めたり、大切さを学んだりするのに有効であったか。 | 58.1% | 37.0% | 4.2% | 0.7% |
| | 58.3% | 36.5% | 4.5% | 0.7% |

- 平成27年度も年間指導計画作成の働きかけを強化してきた結果、小・中学校ともに作成率100%を達成することができた（図表5）。

【図表5：キャリア教育に関する年間指導計画を作成している学校の割合】

| 年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|-----|-------|-------|-------|--------|
| 小学校 | 48.6% | 54.2% | 81.7% | 100.0% |
| 中学校 | 81.3% | 78.3% | 98.6% | 100.0% |

- ・ 高等学校において海外インターンシップに参加した生徒の報告や感想には、「海外ならではの会社の仕組みや品質管理について学ぶことができた。また、工作機械の工業界における重要性を改めて知った。更に自分の視野を広げ『ものづくり愛知』の立役者になりたい」「多くの人と出会い、交流する中で自分の将来を考え直すことができた。英語によるコミュニケーション能力の必要性を深く感じた。今後も広い視野を持ち、勉学に励みたい」など、主体的かつ積極的に異文化に接する態度や、グローバルな広い視野を身に付けつつあることが報告されている。
- ・ 特別支援学校では、発達段階に応じたキャリア教育が行われており、実施した学校からは有意義な活動であったことが報告されている。
また、高等部卒業生の就職率は、平成 26 年度の 36.7%から、平成 27 年度には 39.9%へと上昇した。

■ 課 題

- ・ 小・中学校では、子どもたちの発達段階に合わせて、系統的にキャリア教育を進めていくために、学校の全教育活動との関連を図りつつキャリア教育を適切に位置付けた指導計画を作成し、これに基づき計画的に実施していく必要がある。
- ・ 高等学校の課題は、発達段階を踏まえたキャリア教育の充実を図る手段として、本県独自に作成したキャリア教育ノートの活用促進がある。本ノートは一人一人が学んだことや自分自身の成長を記録し、未来を創造していき、夢をかなえる一助となるものである。このノートを活用した学校数は平成 24 年度から平成 25 年度には増加したが、平成 26 年度から減少傾向となっている。各地域で行われる推進会議等において積極的な活用を促すとともに、より使いやすくするために内容の改善等を検討する必要がある（図表 6）。

【図表 6：キャリア教育ノートの活用状況】

| 年 度 | | 24 年度 | 25 年度 | 26 年度 | 27 年度 |
|------------------|--------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 活 用 校 数 | 全日制高校 | 33 校 (22.3%) | 81 校 (55.8%) | 78 校 (53.4%) | 69 校 (47.3%) |
| | 特別支援学校 | 11 校 (37.9%) | 22 校 (73.3%) | 22 校 (73.3%) | 23 校 (74.0%) |

- ・ 特別支援学校の高等部卒業生の就職率は、平成 27 年度は 39.9%と、昨年に比べ上昇したものの、「愛知・つながりプラン」で掲げる目標の 50%には及ばない状況であった（図表 7）。就職率の向上を図るためには、現在活用が不十分である「キャリア教育ノート」（活用率 23 校・74%）（図表 6）及び「あいち夢はぐくみサポーター」制度*（活用率 5 校 16%）の活用を図り、学校でのキャリア教育を一層推進していくとともに、これまでの製造業を中心とした職場開拓だけでなく、幅広い業種での職場開拓を図っていく必要がある。

【図表7：特別支援学校高等部卒業生の就職率】

| 年 度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 就 職 率 | 39.6% | 38.1% | 36.7% | 39.9% |

※ あいち夢はぐくみサポーター制度：県内の公立の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校におけるキャリア教育を推進するため、児童生徒の教育活動を支援する県内の事業所や団体を認証・登録するとともに、事業所等の社会貢献活動を広報する取組。平成28年3月時点で1,495事業所登録。

■ 今後の方向性

〈短期的に取り組むこと〉

- ・ 小学校においては、キャリア教育の核となる体験活動及び事前・事後の指導を充実するとともに、中学校においては、第2学年での職場体験を核として、第1学年から第3学年までの系統的なキャリア教育を展開する。
- ・ 高等学校では、キャリア教育の取組がまだ十分ではない普通科における体験活動の取組を強化するため、受入れ事業所の負担が比較的軽いジョブシャドウイングの取組を推進する。また、産業労働部と連携し、愛知産業人材育成支援センターが開設するポータルサイト「ひと育ナビ・あいち」と、多様な業種の事業所が登録され、活動内容も多岐にわたる「あいち夢はぐくみサポーター」制度のより積極的な活用を促すことで、キャリア教育を更に支援する。
- ・ 専門学科生が広い視野に立ってグローバル化に対応していくため、東南アジアに進出している企業において実施している海外インターンシップを、工業科、商業科に加え、6次産業化ビジネスにおける食の高付加価値化と海外マーケット戦略が進む農業科、家庭科にも対象を拡大する。
- ・ 特別支援学校における就労支援に専門的に取り組む「就労アドバイザー」を、高等特別支援学校2校を拠点として引き続き1名ずつ配置し、関係機関との連携を更に深めながら、実習先の拡大や就職率の向上を目指す。

〈長期的に取り組むこと〉

- ・ 小・中・高等学校等が、子どもたちの発達段階に応じたキャリア教育を効果的に展開していくために、地域や産業界、関係機関との連携を深め、子どもたちへの指導を円滑に支援できる体制を構築する。
- ・ 高等学校の専門学科において、より高度な技術、技能に触れ、現在の学びを将来の職業につなげるため、10日間程度の比較的長期のインターンシップの実施を検討する。
- ・ 特別支援学校では、学識経験者、企業関係者、労働部局関係者、福祉部局関係者、学校関係者等を委員とする「キャリア教育・就労支援推進委員会」を開催し、関係機関が連携を取りながら就職先の開拓、職域の拡大、就職先への定着支援を効果的に進めていくことができる、新たな就労支援システムの構築を図る。

(関係課室：高等学校教育課、義務教育課、特別支援教育課)

～私立中学校・高等学校における「職場体験活動・インターンシップ」の主な取組事例から～

- 中学校（2年土曜講座「職業体験」、調べ学習・職場体験・成果発表）高校（夏休み・希望者が看護体験・私立幼稚園体験） 【愛知高等学校・中学校】
- 10月に3年生121人が就業体験 【愛知工業大学附属中学校】
- インターンシップ（7月上旬3日間、全科2学年希望生徒155名が55企業で参加） 【愛知産業大学工業高等学校】
- 看護体験（8月5人）、幼稚園体験（7月下旬～8月末 数名程度） 【愛知みずほ大学瑞穂高等学校】
- 職場体験（3月1年生440人）、卒業生による講演会（5月1年生360人）、卒業生による10分程度の徳育講話（1,200人） 【桜花学園高等学校】
- インターンシップ（長野県昼神温泉施設10月6人、大学学生食堂1月3人）、職場体験（幼稚園実習3月28人） 【菊華高等学校】
- インターンシップ（8月3日間2年生17事業所33名）、幼稚園体験学習（8月3日間3年保育進学希望者5名） 【享栄高等学校】
- インターンシップ（夏休み・商業科2年生48人） 【至学館高等学校】
- 幼稚園保育体験、看護師体験（夏季休暇中、各1～2回、5・6名） 【啓明学館高等学校】
- 身近な人の仕事先へジョブシャドウ（1・2年生）、職場体験（3年生5月下旬3日間） 【星槎名古屋中学校】
- インターンシップ（就職希望の2年生11人、採用募集のある全ての企業に受入を依頼、27年度受入可能企業23社） 【大同大学大同高等学校】
- 総合・自己発見～卒業レポートインタビュー～（中学3年生全生徒、各自で夏季休暇中にインタビューを実施） 【東海中学・高等学校】
- 私立幼稚園実習（全学年希望者8月50人程度）、病院看護体験（2・3年希望者 8月10人程度） 【東海学園高等学校】
- インターンシップ（1・2年生希望者に6日間13人）、校内インターンシップ（企業探究プログラム・1年生普通コース、美術科全員） 【東邦高等学校】
- キャリアデザインプログラム（介護3月1回・2年生4月1回、他）、MPプログラム（看護・医療系実習7月1回） 【同朋高等学校】
- 職場体験（中学2年、夏季休暇中に見学・体験実習） 【名古屋中学校・高等学校】
- 「働く人々の話を聞く会」1時間講座（高校1年48人） 【名古屋国際中学校・高等学校】
- 職場体験（1日男子部中2年200人）（1日女子部高1年200人様々な職業の卒業生を含めた女性講師による授業90分講座×2講座） 【南山高等学校・中学校】

- 企業訪問（年1回総合学科1年149人） 【名城大学附属高等学校】
- 一日看護体験(8月12人)、私立幼稚園体験学習(夏季)、インターンシップ(8月20人)、中部経済同友会を講師とする特別授業(7月2年生) 【愛知啓成高等学校】
- インターンシップ（6・7月、4日間、普通科1年生全生徒）、クライマックスインターンシップ（全3年生、自分の進路と連動） 【愛知黎明高等学校】
- ジュニアインターンシップ（夏季休業中7企業22人参加）、私立幼稚園体験学習、一日看護体験研修・臨床工学技師職場体験等 【修文女子高等学校】
- 職場体験（全学年12月2日間幼稚園等） 【聖カピタニオ女子高等学校】
- インターンシップ（2年生17人11事業所5日間） 【星城高等学校】
- 職場体験（普通科進学総合コース・看護福祉プログラム、幼稚園体験、看護師体験等） 【清林館高等学校】
- 各分野で活躍する卒業生の職業についての体験を聞く（中3全員） 【聖霊高等学校・中学校】
- 職場体験（一日看護体験研修・私立幼稚園体験学習・希望者） 【中部大学第一高等学校】
- 職場訪問（10月1年生200人） 【中部大学春日丘高等学校】
- ジュニアインターンシップ（1・2年生希望者、180人） 【愛知産業大学三河高等学校】
- 地元農場の協力で米栽培から販売まで体験
【愛知産業大学三河中学校・高等学校（中高一貫）】
- 職場体験、看護体験、幼稚園実習(8月)、商業科インターンシップ8月職場体験
【安城学園高等学校】
- 就職希望者に対する職場見学 【岡崎学園高等学校】
- 職場体験（看護体験14人、幼稚園体験5人） 【岡崎城西高等学校】
- インターンシップ（2年夏休み26人）、進路シミュレーション（2年普通科・音楽科就職希望110人） 【桜丘高等学校】
- 「プロジェクトT」（全校生徒9月・2月、45事業所90人） 【黄柳野高等学校】
- インターンシップ（5人）、一日看護体験（10人）、幼稚園体験（10人）
【豊川高等学校】
- インターンシップ（1・2年希望者39人25事業所） 【豊橋中央高等学校】

（愛知県私学協会とりまとめ 平成28年6月）

テーマ5 「産業教育の充実」

■ 背景(課題)

近年の科学技術の進展等に伴い、産業界で必要な専門知識や技術は高度化し、従来の産業分類を超えた複合的な産業が発展してきている。

本県は、製造品出荷額等が昭和52年以来38年連続して全国1位を誇るものづくり立県であり、時代の変化に適切に対応しながら、ものづくりを始めとする本県の様々な分野の産業を担っていくスペシャリストや、地域産業を担う人材を育成するために、産業教育の充実を計画的に進めていかなければならない。

■ 関連する施策の実施状況

○「あいちゃんフェスタ」の開催

《あいちゃんフェスタ in 岡崎》

日時：平成27年10月11日(日)

場所：岡崎市中央総合公園

来場者数：延べ1,400人

参加校数：8校

《あいちゃんフェスタ in 半田》

日時：平成27年11月21日(土)

場所：半田市福祉文化会館ほか

来場者数：延べ6,300人

参加校数：12校



○キャリア教育推進事業（地域ものづくりスキルアップ講座）の実施

将来の地域産業界を担う人材の育成を目指し、工業高校の教育課程に地域の企業との連携プログラムを組み込み、産業界のニーズを踏まえた実践的な技能を習得する講座を実施した。

○「愛知県立愛知総合工科高等学校」の開設準備

本県の工業教育の中核となる高等学校の開設に向けて、教育課程及び指導計画の作成、施設・設備の準備等を行った。また、企業や大学等を訪問し、「あいちT&Eサポーターズ」への登録、インターンシップやデュアルシステム及び講師派遣などについて依頼した。更に、民間の技術力や専門性を学校教育に取り入れるため、国家戦略特区の制度を活用し、専攻科の管理を民間事業者に委ねる「公設民営化」の準備を進めた。



【愛知総合工科高等学校校舎】

取組の成果

- 「あいちゃんフェスタ」では、本県が誇るものづくりの総合力など、日頃の学習で身に付けた知識・技術のすばらしさを紹介することで、本県の産業教育の取組について、県民に広く周知することができた。
- 愛知総合工科高等学校の入試結果は以下のとおりである。7学科が予定されているが、募集は一括募集で行った（図表1、2）。

多彩な未来が広がる学びのステップ



【図表2：愛知総合工科高等学校入試結果】

| 定員 | 推薦入学定員枠 | 志願者数 | 合格者数 | | |
|-----|-------------|--------|--------|-------|------|
| 400 | 30%程度～45%程度 | 63 | 62 | | |
| | 一般入学募集人数 | 第1志願者数 | 第2志願者数 | 志願者総数 | 倍率 |
| | 338 | 583 | 145 | 728 | 2.15 |

課題

- 産業教育において、専門分野に関する知識、技術及び技能を育成するためには、施設・設備の充実が必要である。しかし、県立の専門学科等の産業教育施設・設備は、老朽化したものや陳腐化したものも多くあることから、施設・設備の更新・充実を図っていく必要がある。

今後の方向性

〈短期的に取り組むこと〉

- 「あいちゃんフェスタ」の成果を一過性のものとせず、今後も引き続き本県の産業を担う人材の育成につなげていくために、各地域の産業団体や市町村との連携・強化を一層推進し、地域のイベント等への参加を含めて、生徒の発表の場を積極的に設ける必要がある。

〈長期的に取り組むこと〉

- 中・長期的な視点に立った産業教育施設・設備の整備計画を策定し、計画的な更新・整備を図っていく。さらに、職業学科の生徒が、それぞれの分野の専門家から指導を受け、実践的な技術・技能を身に付けることができるよう、県産業労働部の協力を得て、産業現場の第一線での活躍経験をもつ人材を活用する「ものづくりサポーターバンク制度」を導入する。

（関係課室：高等学校教育課）

～私立中学校・高等学校における「産業教育」の主な取組事例から～

- 先端科学技術入門（科学技術科・情報科学科 1 年生、週 2 時間の授業）
【愛知工業大学名電高等学校】
- 中部経済同友会「特別授業」（2 年生 114 人）
【愛知工業大学附属中学校】
- 各種資格・検定の取得奨励、県工業高校総合競技大会・ロボット競技大会等への参加
【愛知産業大学工業高等学校】
- 各種検定への積極的な挑戦（全商簿記実務検定、全商ビジネス文書実務検定、全商情報処理検定等）
【愛知みずほ大学瑞穂高等学校】
- パソコン 88 台設置
【菊華高等学校】
- 家庭科技術検定（家政科）、実務検定（商業科）への取組
【至学館高等学校】
- フォークリフト免許取得講習、技術顕彰制度、ジュニアマイスター顕彰、IT パスポート試験
【享栄高等学校】
- 各種の資格取得
【啓明学館高等学校】
- 土曜授業「クラフトゼミ」「世界の食文化ゼミ」「宇宙工学ゼミ」
【星槎名古屋中学校】
- 2 年次よりコース選択制を導入（工業科）
【大同大学大同高等学校】
- キャリアガイダンス（1 年生 320 人 11 月）、卒業前キャリアガイダンス（3 年生 2 月）
【東海学園高等学校】
- ライフプラン学習会（12 月 3 年商業科）、労働法規を学ぶ学習会（2 月 1 年商業科）
【同朋高等学校】
- 高校（進路を考える日・高 1・卒業生や各界から講師を招へい）、中学（卒業生による講演）
【名古屋中学校・高等学校】
- 文部科学省 SGH アソシエイト認定「Sustainability in Action! で未来を拓くソーシャルアントレプレナーの育成」（全生徒）
【名古屋国際中学校・高等学校】
- SSH・SGH 事業・産学連携による研究発表集会やフィールドワーク
【名城大学附属高等学校】
- 看護教育の充実（H25 全日制看護科の設置。昼間定時制衛生看護科とともに看護師、准看護師を養成）
【愛知黎明高等学校】

- 環境問題への活動（「Blue Earth Project」農業体験、スイーツメニューを企業と共同開発・販売）【聖カピタニオ女子高等学校】
- TOEIC 受験の推奨（年6回）【清林館高等学校】
- 検定の受検（アーク溶接技能検定、旋盤技能検定等）、ボイラー取扱技能講習（機械電気システム科）【中部大学第一高等学校】
- 外部講師による講演（各学年）、面接スタンプラリー（3年生就職希望者）【愛知産業大学三河高等学校】
- 商業科インターンシップ【安城学園高等学校】
- 求められる人材に関する外部講師による講演【岡崎学園高等学校】
- 就職希望者工場見学（70人）【岡崎城西高等学校】
- 進路キャリア入門講座・なるには講座（1年普通科・音楽科）、進路模擬体験今座（2年普通科・音楽科）【桜丘高等学校】
- 新都市若者支援金プログラムに応募・採用【黄柳野高等学校】
- クエストエデュケーション企業探究コースの発表を教員が見学【豊川高等学校】
- 家庭科技術検定3種の取得（家政科）【豊橋中央高等学校】

（愛知県私学協会とりまとめ 平成28年6月）

テーマ6 「グローバル化への対応」

■ 背景(課題)

グローバル化により激しく変化する社会において、子どもたちが自分自身をしっかりと持って生きていくために、国際共通語である英語等によるコミュニケーション能力の育成が重要である。

また、海外に出かけたり海外からの留学生等と交流したりすることにより、アジアを始めとする諸外国の文化についての理解力を高めるとともに、日本の歴史や文化について理解を深め、尊重する態度を醸成することも重要である。

■ 関連する施策の実施状況

「あいち国際戦略プラン（平成 25 年 3 月策定）」における戦略分野の一つである「国際人材戦略」の一環として立ち上げた「あいちグローバル人材育成事業」において、以下の 3 事業を中心に取り組んだ。

○あいちスーパーイングリッシュハブスクール事業

英語教育の拠点となるハブスクールを県内 12 の地区ごとに指定し、各地区で大学教授等の指導の下、英語の授業の進め方や評価方法の改善を目的とした研究に取り組んだ。また、高校と近隣の小・中学校とが、事業の成果を共有するための連携協議会等を開き、研修を行った。

○イングリッシュキャンプ in あいち

様々な国の人たちとオールイングリッシュの共同生活を送るイングリッシュキャンプを夏季に 2 回と冬季に 1 回開催した。



○高校生海外チャレンジ促進事業

県立高校に在籍する生徒が主体的にチャレンジする、海外における短期留学、海外ボランティア活動、海外インターンシップ等の活動費用を助成した。

「教員交換事業」「英語教員スキルアップ事業」では、オーストラリアのビクトリア州と連携し、英語教員の英語力向上の取組を積極的に推し進め、また、県全体を 4 地区に分け、拠点校を中心に「英語教育指導者研修」を実施した。

なお、私立学校においても、姉妹校等との交換留学の実施や海外語学研修など、グローバル人材を育成するための取組が積極的に行われている。

■ 取組の成果

イングリッシュキャンプ参加生徒の感想から、一定の評価がうかがわれた。

「日本語を忘れかけるほどたくさんの英語を話した」「外国人とありったけ会話できるところが新鮮だった」「高校最後の夏にこのキャンプに参加できたことを誇りに思う」「Other students is also kind and have a passion that they want to learn

English.」 「I will come back to English camp as a supporter.」 (原文のまま)

■ 課題

- ・ 教員交換及びスキルアップ事業では、窓口となるビクトリア州の教育訓練省や受入校との情報共有及びより円滑な連絡調整が課題である。
- ・ 次期学習指導要領においては、小学校中学年から外国語活動を行うことや、高学年から英語を教科化することなどを盛り込むことが検討されており、その対応のために授業時間数の確保や英語専科教員の確保等が課題となっている。

■ 今後の方向性

〈短期的に取り組むこと〉

- ・ 小学校の英語科の指導と適切な評価の在り方について研究を進める。
- ・ 小・中学校でALT、外部講師を活用できるよう、市町村教育委員会や大学等と連携を図る。
- ・ 高等学校のスーパーイングリッシュハブスクール事業においては、国の英語中央リーダー研修に派遣した英語教育推進者を講師とした英語教育指導者研修を複数年にわたり実施する。また、高校と小・中学校との連携が一層深まるよう働きかけるとともに、ハブスクール12校には引き続きALTを常駐させ、生徒のコミュニケーション能力の育成を図るとともに、ALTを活用した評価方法の研究など、各校での取組の成果を普及・還元することにより、県全体の英語力の向上を図る。
- ・ 海外チャレンジ促進事業では、募集に向けて、過去の優れた取組事例を広く紹介する。英語科教員の資質と指導力向上を図るため、ビクトリア州との教員相互派遣事業、英語教員スキルアップ研修は、今後も継続実施する。

〈長期的に取り組むこと〉

- ・ 英語などによるコミュニケーション能力の向上はもとより、自国及び他国の歴史や文化についての理解を深め、これを尊重する態度を養うとともに、多文化共生社会で求められる強い精神力と、自分とは異なる歴史や文化に立脚する他者に対して共感する力を育成する。

(関係課室：高等学校教育課、義務教育課)

～ 私立中学校・高等学校における「グローバル化への対応」の主な取組事例から ～

- アメリカ（高1・2希望者）、オーストラリア（中3・高1希望者）への海外研修
【愛知高等学校・中学校】
- カナダのサレーを中心に語学研修及び異文化体験（15日間程度、希望者）
【愛知工業大学名電高等学校】
- オーストラリア・メルボルンでホームステイ（15日間程度）、英会話を少人数で実施、ブリティッシュヒルズ英語研修（3年希望者）
【愛知工業大学附属中学校】
- オーストラリアへの修学旅行（1月中旬5泊6日）、英語検定への受検推奨
【愛知みずほ大学瑞穂高等学校】
- 台湾・オーストラリアの姉妹校との交流、カナダへの語学研修等
【桜花学園高等学校】
- ニュージーランドのネイピア・コレンソに3人長期留学
【菊華高等学校】
- 高校における、総合的な学習の時間「Dignity」、地歴公民科と英語科の合科科目「World Studies」、英語科選択科目「Culture」等
【金城学院中学校・高等学校】
- ニュージーランド留学（普通科留学コース・1年間）
【至学館高等学校】
- 海外語学研修（オーストラリアでのホームステイ）、ネイティブ講師による英語授業
【享栄高等学校】
- 外国人講師による一般英会話、ビジネス英会話
【啓明学館高等学校】
- ハワイ実習（4泊6日）
【星槎名古屋中学校】
- オーストラリアへの海外語学研修（21日間、希望者）
【大同大学大同高等学校】
- 外国人講師による英会話授業、海外研修（中3・高1、ニュージーランド・イングランド・スコットランド・アイルランド）、「アメリカンキャンプ」（中1・2）
【東海中学・高等学校】
- 留学コース（1年又は半年、2年生）
【東海学園高等学校】
- 姉妹校の留学生受入、アジア各国訪問団受入、韓国・中国視察団受入、ニュージーランドでの夏期英語研修、美術科修学旅行でパリ訪問（現地美術学校と交流）
【東邦高等学校】
- オーストラリア語学研修（8月）、音楽科修学旅行（3月2年生）
【同朋高等学校】
- メントン・グラマースクール（オーストラリア）との交換留学、イギリス、アメリカ、オーストラリア希望者語学研修、短期交換留学生の受入等
【名古屋中学校・高等学校】
- 国際理解研修（ロンドン、エドモントン、ビクトリア、ボストン、マニラ、ニュージーランド、シンガポール・マレーシア、1～8週間、中3・高2）
【名古屋国際中学校・高等学校】
- 語学研修プログラム（カナダ・オーストラリア、希望者）
【名古屋女子大学中学校高等学校】
- オーストラリア、イタリア、イギリスへの海外研修（1～3週間）、ウィーン国際文化祭参加
【南山高等学校・中学校】
- 「英会話Ⅱ・Ⅲ」「科学英語」、「SSI」「多文化共生Ⅰ・Ⅱ」、海外修学旅行（ニュージーランド、ハワイ、台湾）、グローバルサロン
【名城大学附属高等学校】
- 海外修学旅行（カナダ、ニュージーランド、シンガポール・マレーシア）、語学研修（ハワイ、イギリス）、短期留学（カナダ、ニュージーランド）等
【愛知啓成高等学校】

- 海外友好校からの学校訪問・ホームステイ受入、アメリカ語学研修旅行（2年）
【愛知黎明高等学校】
- 姉妹校（ニュージーランド・ダニバーク高校）との間で、代表生徒と教員の訪問、交流
【栄徳高等学校】
- オーストラリア短期留学（1年英語コース全員）、アイルランド語学研修（希望者）、イタリア研修旅行（希望者）
【聖カピタニオ女子高等学校】
- SGHアソシエイト校としての各種活動（ネイティブによる英語授業、イングリッシュキャンプ、留学生との交流、海外研修・海外修学旅行等）
【星城高等学校】
- オーストラリア・フィリピンCPILS語学研修、留学の推進、海外姉妹校との交流（交換留学）、海外修学旅行（台湾姉妹校訪問等）等
【清林館高等学校】
- 6年間一貫の英語教育、オーストラリアのマウント・セント・ジョセフ校との生徒・教員の相互訪問、ネイティブ教員による会話指導
【聖霊高等学校・中学校】
- カナダ研修（卒業後・希望者）
【滝中学校】
- 「異文化理解」（2年総合）、海外修学旅行（2年希望者）、英語検定受検（1年生普通科）、リスニング英語検定受検（機械電気システム科）
【中部大学第一高等学校】
- 研修旅行（シンガポール、オーストラリア）、SGHとして英語教育、アジア文化理解
【中部大学春日丘高等学校】
- 中部大学春日丘高等学校のSGH活動につながる人材育成
【中部大学春日丘中学校】
- 英語によるプレゼンテーション
【愛知産業大学三河高等学校】
- オーストラリア語学研修、ネイティブによる英会話授業
【愛知産業大学三河中学校・高等学校（中高一貫）】
- 海外修学旅行（シンガポール・希望者）、留学（1年間、アメリカ、カナダ、オーストラリア）、英語コース・セミナー、留学生受入
【安城学園高等学校】
- 短期（2週間）・中期（3か月）・長期（1年間）の留学制度（カナダ、ニュージーランド、オーストラリア）
【岡崎学園高等学校】
- 会話授業（1年、AET+専任）、国際交流授業（1年総合）、オーストラリア語学研修
【岡崎城西高等学校】
- 短期留学（ホープウェル、レイクノーマン）及び交換留学の受入、英語のグレード別授業、ネイティブ教員の充実、リベラルアーツの導入等
【南山国際高等学校・中学校】
- 英語検定全員受検、ニュージーランド1年留学、短期ホームステイ、中国研修、オーストラリア研修（中高一貫2年）、フィリピン研修（中高一貫1年希望者）
【桜丘高等学校】
- フェアトレードを広げる活動、ニュースレター発行、ワークショップ・軽トラ市出店（新城市）、英語検定受検
【黄柳野高等学校】
- 中国語講座、カナダ研修・オーストラリア研修（希望者）等
【豊川高等学校】
- NHK World News の視聴、海外留学生の受入
【豊橋中央高等学校】

（愛知県私学協会とりまとめ 平成28年6月）

■ 効果指標の達成状況

指標：キャリア教育の年間指導計画を作成している学校の割合(小・中学校)

目標：100%(27年度)

【平成27年度の状況】

◆小・中学校ともに、前年度を上回った。

※各市町村教育委員会を通じて、各学校へ年間指導計画の作成を働きかけてきた結果、小・中学校ともに作成率100%を達成することができた。

■本県実施調査の結果

| 区分 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 小学校 | 48.6% | 54.2% | 81.7% | ○100% |
| 中学校 | 81.3% | 78.3% | 98.6% | ○100% |

※ ○は、目標を達成している項目である。

指標：インターンシップ等を実施する全日制県立高等学校の割合

目標：100%(27年度)

【平成27年度の状況】

◆全日制県立高等学校において、平成23年度以降、5年連続でインターンシップ等を実施する学校の割合は100%の目標値を達成している。併せて各高等学校におけるインターンシップ等への参加生徒数に着目すると、平成26年度の11,286人から平成27年度は12,704人へと増加傾向であった。

※今後も、キャリア教育の推進に向けて、就業体験から学習意欲の向上につなげることができるようインターンシップ等の充実に努める。

■本県実施調査の結果

| 年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 実施率 | 73.2% | 96.0% | ○100% | ○100% | ○100% | ○100% | ○100% |

※ ○は、目標を達成している項目である。

指標：特別支援学校高等部卒業者の一般就労の就職率

目標：50% (27年度)

【平成27年度の状況】

◆前年度と比べて3.2%の増となっている。

※知的障害特別支援学校高等部卒業者の就職率の向上のためには、職業教育の充実強化を図るとともに、職域の拡大を図っていく必要がある。平成27年度から、地域企業と連携して職業教育の充実強化に取り組むとともに、専門的に就労支援に従事する就労アドバイザー2名を配置した。就職先・実習先の開拓や定着支援、さらには関係諸機関との連携強化を図っていく。

■特別支援学校の幼児児童生徒の実態調査の結果

| 年 度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 就職率 | 38.4% | 36.7% | 37.7% | 39.6% | 38.1% | 36.7% | 39.9% |

指標：あいち夢はぐくみサポーターの登録数

目標：前年度に比べて増加する。(毎年度)

【平成27年度の状況】

◆平成23年度より登録を開始した「あいち夢はぐくみサポーター」については、幅広い業種から、多数の事業所の協力を得ることができ、目標を達成することができた。

※今後も、登録事業所の充実を図り、学校のキャリア教育が円滑に実施できる体制を整えていく。

■あいち夢はぐくみサポーターの登録事業所数

| 年 度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|-----|------|-----------|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 登録数 | — | 23 事業所 | ○ 349 事業所 | ○ 814 事業所 | ○1,241 事業所 | ○1,495 事業所 |

※ ○は、目標を達成している項目である。

指標：全国学力・学習状況調査で「勤労観・職業観」に関する項目に肯定的に答えた児童生徒数の割合（小・中学校）

目標：全ての項目で全国平均を上回る。（毎年度）

【平成 27 年度の状況】

◆小・中学校ともに、目標を下回っている。

※キャリア教育のねらいに該当する「自律的な生き方」や「勤労観」に関する調査項目の経年比較を見ると、全国の回答状況と似たラインを描くものの、多くの項目において全国を下回る結果が出ている。

※今後も、児童生徒の「勤労観・職業観」が高められるように、家庭・地域との連携を大事にし、小・中学校でのキャリア教育の更なる充実を図っていく。

■全国学力・学習状況調査（文部科学省）の結果

| 小 学 校 | | 22 年度 | 23 年度 | 24 年度 | 25 年度 | 26 年度 | 27 年度 |
|------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 将来の夢や目標をもっていますか。 | 本県 | 86.3% | — | 86.2% | 87.4% | 86.2% | 85.5% |
| | 全国 | 86.8% | — | 86.7% | 87.7% | 86.7% | 86.5% |
| 家の手伝いをしていますか。 | 本県 | 78.9% | — | 79.9% | 80.0% | — | — |
| | 全国 | 80.2% | — | 80.7% | 80.5% | — | — |

| 中 学 校 | | 22 年度 | 23 年度 | 24 年度 | 25 年度 | 26 年度 | 27 年度 |
|------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 将来の夢や目標をもっていますか。 | 本県 | 70.0% | — | 71.5% | 70.8% | 68.8% | 68.3% |
| | 全国 | 71.7% | — | 73.2% | 73.5% | 71.4% | 72.7% |
| 家の手伝いをしていますか。 | 本県 | 62.4% | — | 65.1% | 62.0% | — | — |
| | 全国 | 64.8% | — | 66.0% | 64.5% | — | — |

※ 23 年度は東日本大震災の影響により「全国学力・学習状況調査」は見送りとなった。

< 参考資料 >

| 小 学 校 | | 22 年度 | 23 年度 | 24 年度 | 25 年度 | 26 年度 | 27 年度 |
|----------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 | 本県 | 93.1% | — | 94.4% | 93.7% | 93.9% | 93.7% |
| | 全国 | 93.4% | — | 94.7% | 93.6% | 94.0% | 93.7% |

| 中 学 校 | | 22 年度 | 23 年度 | 24 年度 | 25 年度 | 26 年度 | 27 年度 |
|----------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 | 本県 | 91.5% | — | 93.9% | 92.7% | 93.8% | 93.5% |
| | 全国 | 92.1% | — | 93.9% | 93.3% | 94.0% | 93.7% |